

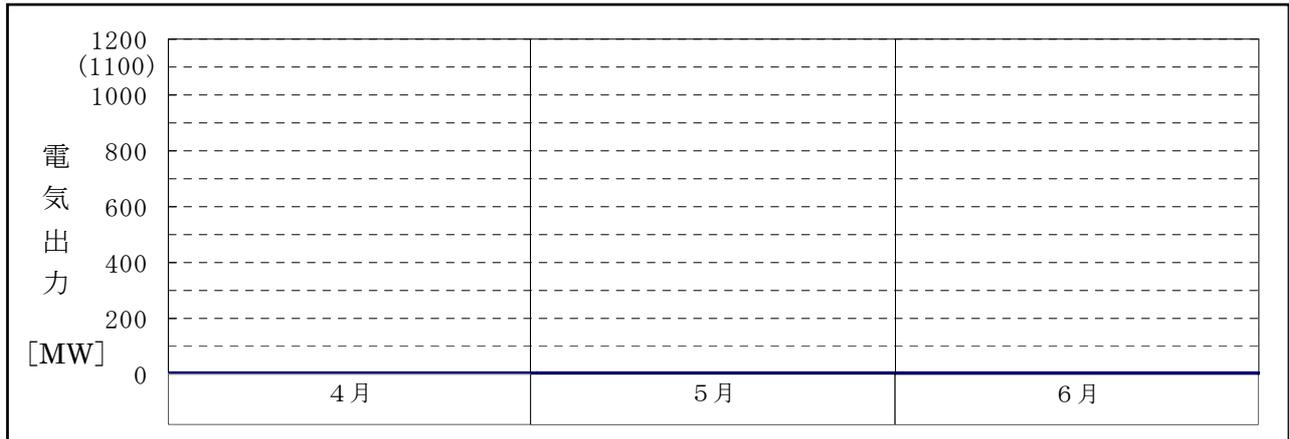
平成 28 年 7 月 26 日
東北電力株式会社

東通原子力発電所の現在の状況について

1. 運転状況

- 平成 23 年 2 月 6 日より第 4 回定期検査を実施中

2. 電気出力（平成 28 年 4 月 ～ 平成 28 年 6 月）



3. その他

(1) ケーブルの不適切な敷設に関する原子力規制委員会からの評価結果について

- 当社は、原子力規制委員会より発出された指示文書等に基づき、ケーブルの不適切な敷設の状況について調査し、その結果等について 3 月 29 日に原子力規制委員会へ報告しております。
- これに対し、原子力規制委員会より、保安規定において品質保証計画に基づき保安活動を実施することが規制要求となった時点よりも以前に工事が実施されたものであることから、保安規定には違反しないものの、設計どおりに実施されていなかった点において、保安活動の業務プロセスに関し改善の余地があるものと評価されました。
- 当社といたしましては、このたびの原子力規制委員会の評価・指摘を真摯に受け止め、現在計画的に進めている再発防止対策を確実に取り組むことにより、業務品質のさらなる向上を図り、原子力発電所の安全確保に万全を期してまいります。

(2) 東通原子力発電所 1 号機における非常用ディーゼル発電機 (A) からの軽油漏えいについて

- 平成 28 年 4 月 14 日、東通原子力発電所 1 号機の原子炉建屋（管理区域外）において、10 時 02 分頃から、非常用ディーゼル発電機 (A) の定期試験を行っていたところ、10 時 58 分頃、燃料循環ポンプ付近に設置されている圧力調整弁から軽油が漏えい（漏えい量約 25 リットル）していることを確認しました。（前回評価委員会で報告済み）
- 当該弁の外観点検および分解点検を行った結果、油圧の調整ハンドル位置を固定するロックナットが緩み、調整ハンドルが適正な位置から開側に移動したことにより、当該弁内の O リングが所定の位置からずれて空気抜き穴の位置に達していることを確認しました。これにより、軽油が空気抜き穴から漏えいしたものと推定しました。

- また、調整ハンドル位置を固定するロックナットが緩んだ原因は、以下のとおりロックナットの締め付けが不十分な状態で、非常用ディーゼル発電機（A）の運転による振動が作用したものと推定しました。
 - 過去（平成28年1月）に実施した当該弁の分解点検後の組み立て時に、ロックナットの適切な締め付け管理（締め付け結果の記録作成）ができていなかった。
 - 過去（平成28年1月）に実施した当該弁の分解点検後の組み立て時に、当該弁の構成部位であるカラーとカバーの接触面に、カバーの塗膜を挟み込んだ状態で、ロックナットを締め付けたため、接触面に加わる圧力が不均一となった。
- 上記の推定原因に対して、以下のとおり再発防止対策を実施いたします。
 - 分解点検後の組み立て時に、ロックナットの締め付け結果の記録を作成するルールを定め、締め付け管理を徹底する。
 - カラーとカバーの接触面付近の塗膜を除去し、ロックナットの締め付け時に接触面に加わる圧力が均一となるようにする。
 - さらに、ロックナットの緩みおよび調整ハンドルの開側への移動を防止するため、ロックナットと調整ハンドルを一連のワイヤーで固定する。
- 上記の対策を講じ、非常用ディーゼル発電機（A）は平成28年4月30日17時23分に待機状態となり、復旧しております。

(3) 東通原子力発電所1号機における補助ボイラー（A）からの重油漏えいについて

- 平成28年7月23日、東通原子力発電所1号機の補助ボイラー建屋(管理区域外)において、14時40分頃、補助ボイラー（A）から重油が漏えいしていることを確認しました。その後、補助ボイラー（A）を停止し、重油の漏えいが停止したことを確認しました。
- 重油の漏えい量は約6リットルと推定しております。
漏れた重油は補助ボイラー建屋内に留まっており、外部への流出はありません。
- 原因については、現在調査中です。
- 本事象については、青森県および東通村と定める「東通原子力発電所におけるトラブル等対応要領」におけるA情報のうち「事業所内の消防法に基づく危険物の流出」に該当するものと判断し、直ちに関係箇所へ通報連絡を行っております。
- なお、本事象による環境への影響はありません。

※補助ボイラー：

重油を燃料とし、純水を蒸気に変える設備。作られた蒸気は、廃液を処理するための加熱用蒸気として用いられ、放射性物質は含まれていない。

詳細については、当社ホームページから確認することができます。

(<http://www.tohoku-epco.co.jp>)

以上